

アジレント・テクノロジー株式会社

企画・広報部

〒192-8510

東京都八王子市高倉町 9-1

T E L : 042-660-8426

F A X : 042-660-8438

<http://www.agilent.co.jp/>



Agilent Technologies

Press Release

2010年1月19日

PREMG10-11

製品名 : N4876A 28 Gb/s マルチプレクサ
N4903B-002 J-BERT 第二出力チャネル

アジレント・テクノロジー、J-BERT、ParBERT 向け

28 Gb/s マルチプレクサを発表

次世代シリアルインタフェースの正確な特性評価や
設計マージンの改善に役立つマルチプレクサ

アジレント・テクノロジー株式会社（社長：海老原 稔、本社：東京都八王子市高倉町9番1号）は、自社のビット誤り率測定器「J-BERT N4903B」および「ParBERT 81250A」の出力データレートを28 Gb/s（ギガビット/秒）に高めるマルチプレクサ「N4876A 28 Gb/s マルチプレクサ」を発表、3月1日より販売を開始します。この製品を活用することで、半導体、通信、ストレージ、コンピュータ業界の設計・テストエンジニアは、設計マージンを最適化すべく、次世代シリアルインタフェースの正確な特性評価を行うことができるようになります。当社では今回発表のN4876Aを2010年1月20日から22日にかけて東京ビックサイトで開催される光通信システム、デバイス、次世代ネットワーク関連機器の国際専門展「第10回 光通信技術展 ファイバーオプティクスEXPO (FOE) 2010」の当社ブースに展示します。

コンピュータのバックプレーンや、通信ネットワーク、ストレージ・ネットワークで使われる新たな SERDES などのインターコネクต์においては、12.5 Gb/s をはるかに超えるデータレートで動作することになります。たとえば、Optical Internetworking Forum では、Common Electrical I/O バックプレーンは 19.9 ~28 Gb/s で動作すると規定しています。また、IEEE 802.3ba では、100GBASE-LR4 と -ER4 で 25.78125 Gb/s が、さらには 32x Fibre Channel では 28.05 Gb/s のレートが予測されます。このような高速ビットレートで動作する送受信機の物理層の設計や特性評価には新たな測定器が必要となります。今回発表の 2:1 マルチプレクサは 2 つの出力チャンネルを束ねることで、パターンジェネレータのデータレートを2倍に高めます。J-BERT N4903B の場合は 28.4 Gb/s に、ParBERT

81250A の場合は 27.0 Gb/s に高めることが可能です。J-BERT でマルチプレクサを使用する場合、オプションの第二出力チャンネルが有効になっている必要があります。

最大 1.8 Vpp の出力振幅、20 ピコ秒 (20%–80%) 未満の遷移時間、1 ps rms 未満の残留ジッタなど、優れた信号出力性能を実現したこのマルチプレクサにより、正確な特性評価が可能となります。さらに、受信機のジッタ耐力試験に有効な、J-BERT や ParBERT の持つジッタ印加機能は、マルチプレクサを介しても透過的に動作します。

当社のサンプリング・オシロスコープ「Agilent 86100C Infiniium (インフィニウム) DCA-J」、および当社の BERT と 28 Gb/s マルチプレクサの組み合わせの場合、最も正確な特性評価を実現することができます。この組み合わせにより、送信機の品質や受信機の堅牢性を確保することが可能となります。

当社のデジタル・フォトリック・テスト製品群担当ジェネラルマネージャのユルゲン・ベック (Jürgen Beck) は次のように語っています。

「当社は業界を代表する BERT ソリューションを次世代のスピードに対応すべく拡張できたことを大変誇りに思っております。BERT のデータレートを 28 Gb/s にまで拡張することで、当社は研究開発や評価部門のお客様に、世界クラスの性能を犠牲にすることなく、現実的な価格でアップグレードできる道をご用意いたしました。当社は、研究開発部門のお客様が、通信、ストレージ、コンピュータ業界向けに堅牢な次世代高速デジタル・インタフェースの開発を行っていただけるよう、サポートしていくことをお約束いたします。」

N4876A 28 Gb/s マルチプレクサの主な特長

- * 最大 28.4 Gb/s まで、優れた信号品質でパターン発生を可能にすることで、正確な特性評価を実現
- * 被測定物の近くに置ける小型のフロントエンド・ボックスの採用により、ケーブルの取り回しが容易
- * J-BERT が生成する校正されたジッタにより、ストレス状況のエミュレーションが可能
- * ParBERT および J-BERT のパターン発生器のデータレートを高めるフロントエンド・ボックスは、単純なパターン発生器としても、フル機能の BERT としても使える柔軟の構造
- * J-BERT N4903A/B または 81250A ParBERT に付加する構造のため、低価格でデータレートを高めることが可能

J-BERT N4903B 第二出力チャネル・オプションの主な特長

- * PRBS やパターン・シーケンスなど、簡単なセットアップで J-BERT の第二出力チャネルから信号出力が可能
- * マルチプレクサによるデータレート拡張、シーケンストリガ用の制御信号出力、クロストーク試験、外部出力を追加することで 3 レベルまたは 2 タップのディエンファシスのエミュレーションなど、第二出力チャネルを使って柔軟な試験が可能
- * 現在、または将来のアップグレードが可能

「Agilent N4876A 28 Gb/s マルチプレクサ」についての詳細情報は以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.agilent.co.jp/find/n4876>

製品写真は以下のウェブサイトからダウンロードいただけます。

http://www.agilent.com/find/n4876_images

「Agilent J-BERT N4903A」、および新製品の第二出力チャネル・オプションについての詳細情報は以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.agilent.co.jp/find/jbert>

「Agilent ParBERT 81250A」についての詳細情報は以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.agilent.co.jp/find/parbert>

販売方針

- * **目標市場**：光通信装置・部品の研究開発・製造部門、およびハイエンド高速デジタル向け部品の研究開発・設計部門など
- * **販売価格（発表日時点での税抜き参考価格です）**：
N4876A 28 Gb/s マルチプレクサ 約 420 万円
N4903B-002 J-BERT 第二出力チャネル・オプション 約 330 万円
- * **販売開始日**：2010年3月1日
- * **出荷開始予定時期**：2010年5月

#

お客様からのお問い合わせ先（記事掲載時の連絡先もこれでお願ひします）：

計測お客様窓口

電話：0120-421-345

この発表に関する報道関係者各位からのお問い合わせ先：

企画・広報部 関

電話：042-660-8426

アジレント・テクノロジーについて

アジレント・テクノロジー（NYSE:A）は、コミュニケーション、エレクトロニクス、ライフサイエンス、化学分析市場における世界のプレミア・メジャメント・カンパニーであり、またテクノロジー・リーダーでもあります。17,000名の従業員を擁し、110カ国以上でビジネスを展開しています。アジレントは、2009年度、45億ドルの売上高を達成しました。アジレント・テクノロジーの情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.agilent.co.jp>